AERO FIT SEATBAG GT

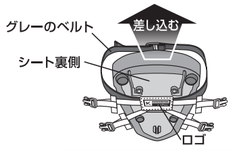
エアロフィット シートバッグGT 〈取扱説明書〉

●この取扱説明書をよくお読みの上、安全に正しくご使用くださいますようお願いいたします。
●この取扱説明書はお読みになった後も、いつでも見られるように大切に保管してください。

●バイクへの取り付け方法

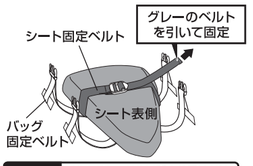
シートへの取り付け《 KシステムベルトNT25を使用 》

1 シートを取り外し、K システムベルトを図のようにシート裏側でロゴが見えるようにして位置を決め、シートの突起を避けながらグレーのベルトにシートを差し込みます。



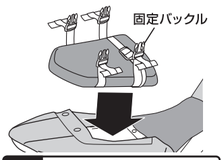
⚠注意 バックルの裏表を間違えると装着できません。

2 シート表側でグレーのベルトのバックルをしっかり引いてシートに固定してください。グレーのベルトは回転移動できますので、ベルトを引きやすい位置に調整してください。



⚠注意 ベルトがしっかり固定されていないとベルトがずれて安定しません。

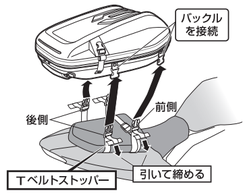
3 シートを戻し、しっかりと車体に固定させます。(この時に固定用のバックルのついた 4 本のベルトをシートの外へ上向きになるように出してください。)



⚠警告 ベルトが車体側のフレームやフックに挟まれて破断する事のないようにご注意ください。

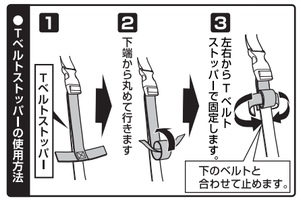
⚠注意 ベルトがねじれてバックルの向きが変わると固定ができません。ベルトがねじれて挟まれていないか確認して、シートを戻してください。

4 バッグのバックルに K システムベルトのバックルを差込み固定します。不安定にならないように先に前側左右のバックルを同時に引いて適度なテンションにベルトの長さを調整し、次に後側の左右バックルを同時に引いて長さを調整してください。



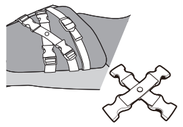
5 ベルト調整後、余ったベルトはTベルトストッパーでまとめます。

●Tベルトストッパーの使用方法



接続バックルの使用方法

バッグを取り外した後の K システムベルトは接続バックルで、車体に取り付けておく事が可能です。

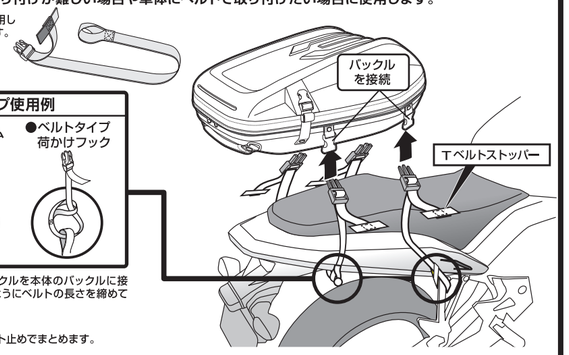


車体への取り付け《 固定ベルトを使用(別売り) 》

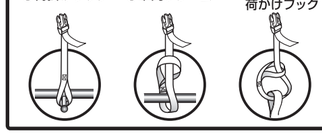
※シートへの取り付けが難しい場合や車体にベルトで取り付けたい場合に使用します。

1 固定ベルト(別売り)のループを使用して下図を参考にバイクに取付けます。

MP-348T 固定ベルト
(オプションパーツ：別売り)



●固定ベルトのループ使用例



2 固定ベルトを車体に繋げたらバックルを本体のバックルに接続します。前後左右が均等になるようにベルトの長さを締めて調整します。

3 ベルト調整後、余ったベルトはベルト止めでまとめます。

⚠注意
●バックルの裏表を間違えると装着できません。
●車体の温度が高い部分(エンジン・マフラー・排気煙等)にベルト、バックル、バッグ等が触れると溶ける場合があります。
●「Kシステムベルト」と「固定ベルト」の併用は出来ません。

⚠ 警　告

●取り付け後、及び乗車の前には必ず、安全な運転に支障がないか確認してください。●固定ベルトの取り回しや、余ったベルトはホイールやチェーン等の可動部分に絶対に接触しないようにしてください。●余ったベルトはホイールやチェーン等の可動部分に絶対に接触しないようにしてください。●上記の取り付け方を守らない場合、転倒等の重大な事故を引き起こす可能性があります。

⚠ 取り付けの注意

●シート・テールカウル・ウィンカーの形状等により、本製品を装着できない場合があります。事前に取り付け車両の形状を良くご確認の上、ご購入ください。●バッグは走行に支障のない、安定した位置に装着してください。シート形状や取り付け位置等により装着後も安定しない場合がありますので、走行前に必ず操縦に支障のない事を確認し、また脱落等の無いように確実に装着してください。●走行による振動等で固定ベルト等は緩む場合があります。走行前には緩みがないか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。●バッグを使用しない時にバッグやセンター固定ベルト等を長時間シートに取付けた状態ですと、色移りする事がございます。特に暑い夏場等は適度に取り外してください。●バッグ本体やベルト・バックル等が車両に当たる場合は、事前に市販のプロテクターシート(モトフィズプロテクターシート：別売)等でその部分を保護する事をお勧めします。●継続する高温には対応していません。エンジン・マフラー等、車体の熱くなる部分には触れる事の無い様に装着してください。●固定ベルト等に傷やほつれが生じた場合は、破損、脱落の恐れがありますので必ず交換してから使用してください。(補修パーツリスト参照)

◉部品構成

補修パーツ(消耗品パーツ)のご案内

お求めはお近くの「モトフィズ」取扱店にてご注文ください。

部品番号	名　称	セット数
MP-340	ショルダーベルト	1本
MP-345T	Kシステムベルト NT25	1個
MP-347	接続バックル	1個
MP-358	防水インナー	1個
●オプション　MP-348T	固定ベルト	1本
●オプション　MF-4684	プロテクターシートロール	1枚
●オプション　MF-4729	プレートフック3	1個

●バッグの使用方法

2つの収納スペース

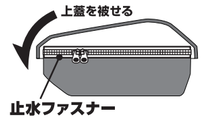
●本製品は防水スペースと手軽にアクセス出来る上部ポケットの 2 気室構造です。収納物により使い分けてご使用ください。

⚠注意 上部ポケットは防水ではありません。

防水スペース

1 防水スペースの使用方法

本製品は防水インナーを「止水ファスナー」で閉め、上蓋で止水ファスナーをガードする構造です。
防水性を確保するため、使用時は必ず「止水ファスナー」を完全に閉めてから上蓋を被せてください。



2 防水インナーのお手入れ方法

本製品は EVA ケースと防水インナーの 2 重構造で浸水を防いでいます。構造的に EVA ケースと防水インナーの間で多少浸水します。浸水は水抜き穴で抜ける構造ですが、雨天走行後は必ず防水インナーを本体から外し、本体と防水インナーを乾燥させてください。

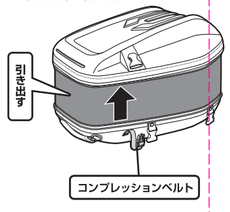
3 防水インナー装着方法

防水インナーを本体の面ファスナーから取り外してください。
お手入れ後は取り外した逆の手順で本体と防水インナーの面ファスナーを合わせて装着します。

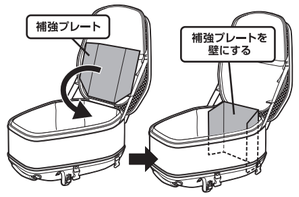
⚠注意
●完全防水ではありませんので水没や激しい雨天での走行では浸水する可能性があります。電子機器や大切な荷物はビニール袋等と併用し、より高度な浸水対策をお勧めします。
●本製品は外部からの浸水には強い構造となっていますが、バッグ内部と外側の温度差により結露が発生し荷物が湿る場合があります。特にマフラー等の発熱部品の近くにある場合や、長時間の雨天走行をすると、内部が結露しやすくなりますのでご了承ください。
●バッグの外側が濡れた状態で開けると、入り口部の水滴等が中に流れ落ちる事がありますのでご注意ください。

容量の拡張方法

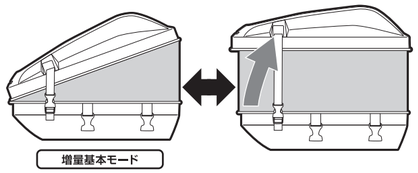
1 バッグ左右のコンプレッションベルトを外してから、拡張ファスナーを開放し、拡張部分を引き出します。



2 内蓋裏面の補強プレートを展開してプレートをバッグ底面の奥まで合わせ、補強プレートをバッグ内部の壁とします。



3 バッグ内部に補強プレートで壁を建てた状態が容量 18.5ℓの「増量基本モード」です。この状態から収納物により最大 25.5ℓまで拡張部分を増量する事ができます。



⚠注意 容量を拡張する際は必ず「補強プレート」を展開してバッグを補強してください。

4 コンプレッションベルトを左右均等に調整し、収納物を押さえてください。荷物の揺れを押え安定させる事が出来ます。

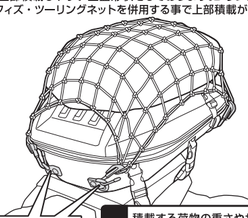
ヘルメットの収納

●バッグ本体を「増量基本モード」形態にしてヘルメットを本体に収納します。その後、蓋を閉めコンプレッションベルトでヘルメットを抑えて安定させます。

⚠注意
●荷室は傷付き防止生地を使用していますが、傷付きが気になる場合はヘルメット収納袋と併用し、より高度な傷防止対策をお勧めします。●ヘルメットに傷が付くおそれがあるのでヘルメットのみ単体で収納してください。●本製品はコンプレッションでヘルメットを押える構造上バイザー等が付くヘルメットは収納できません。●本製品の最大ヘルメット収納サイズは SHOEI の X-Fifteen を目安としております。それ以上のヘルメットは適合外となります。●インカムは必ず外して収納してください。

上部積載の方法

●本製品は上部積載しやすい上蓋形状をしております。D リングを利用して別売りモトフィズ・ツーリングネットを併用する事で上部積載が可能です。

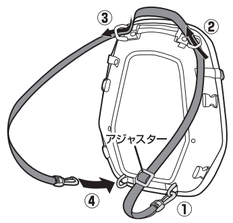


⚠注意 積載する荷物の重さやサイズによってはネットの力だけではズレたり傾いたりする場合があります。状況にあわせて補助のベルトを使用するなどして確実に積載してください。

ザックの装着方法

●ショルダーベルトを使用します。

❶ ショルダーベルトのフックを①のDリングに接続します。
❷ ②、③のDリングに通し…
❸ ④のDリングに接続します。
❹ アジャスターでベルトの長さを調整します。



⚠ 使用上の注意

●法定速度以上での使用はお控えください。●最大積載量(7.0kg)を超える積載は脱落や車両の破損の恐れがあるのでお控えください。●走行による振動等でKシステムベルトや固定ベルトが緩む場合があります。走行前には緩みがないか必ずチェックし、常に適切な装着状態で使用してください。●角が鋭い重量物を入れると、内装が破損する恐れがあります。その場合はパッキン等で包んで収納してください。●携帯ガソリンボトル、ガスボンベ等、引火性の強い危険物は火災の原因になりますので、収納しないでください。●林道や砂利道などの荒れた路面では振動でバッグが脱落する恐れがあります。路面の状況やスピードに充分注意して走行してください。●バッグは生地や縫製方法など通常使用での耐久性は充分に考慮されていますが、着脱時、ファスナーの開閉、バックルの扱いなどで無理な力を加えたり無理な扱いをすると破損する恐れがあります。大切にお取り扱いください。●寸法・容量等の表記につきましては、個体別の誤差が生じる場合がございますので予め御了承ください。●仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。●取扱説明書に書かれている指示及び警告に従わない誤ったご使用により損害が発生した場合、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

⚠ ザック使用時の注意
■走行時、コーナー(道路)でのバイクの倒しこみは不安定になるのでおやめください。
■ご使用に伴う湿気(汗)と摩耗により衣類等へ色移りする場合がございますのでご注意ください。
■掛けたまま、背負ったままで上蓋の開閉は出来ません。

保管とお手入れの方法

●表面等の汚れは、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭き取って、良く乾燥させてください。
●雨天走行等で濡れた場合は、そのままにせずバッグ内外の汚れと水分を拭き取りすべてのファスナーを開いて、日陰の風通しの良い所で乾燥させてください。
●保管の際は乾拭き・陰干しをしてから湿度、温度が低く風通しの良い場所に保管してください。
●定期的なお手入れは、PITGEARモトフィズバッグクリーナーとモトフィズバッグコートの使用をお勧めします。

⚠注意 ベンジン、シンナー、ガソリン等の有機溶剤の使用、及び水での丸洗いは生地を傷める原因となりますのでお避けください。

オプションパーツ(別売り)の使用方法

●プロテクターシート
バッグやベルトの接触面に貼る事で車体の傷付きを防止出来ます。モトフィズプロテクターシートは貼り付け場所により様々な形状をご用意しています。詳しくはタナックスWebサイトでご確認ください。

●プレートフックシリーズ
バイク後部に荷掛けフックが無い車両でもプレートフックを使用する事で、固定ベルトをより簡単で確実に装着することが出来ます。
モトフィズプレートフックは様々な形状をご用意しています。詳しくはタナックスWebサイトでご確認ください。

タナックス株式会社
千葉県流山市おおたかの森西 3-5-7　〒270-0128　TEL：04-7150-2450
TANAX CORPORATION
3-5-7,OTAKANOMORINISHI,NAGAREYAMA-SHI,CHIBA　270-0128,JAPAN　TEL：+81-4-7150-2450

TANAX WEB サイトへ 簡単アクセス!
https://www.tanax.co.jp

KS1601052